

第6期横浜市子ども・子育て会議 第6回保育・教育部会 第34期横浜市児童福祉審議会 第6回保育部会 合同部会 公開議事会議録											
日 時	令和5年9月4日(月) 18時15分～20時40分										
開 催 場 所	市役所18階 みなと1・2・3会議室										
出 席 者	石井部会長、山瀬副部会長、倉根委員、清水委員、天明委員、尾木委員、斉田委員、大庭委員、大澤委員、森委員										
欠 席 者	なし										
開 催 形 態	公開(一部非公開)										
議 題	<p>議事</p> <p>&lt;公開案件&gt;</p> <p>【子ども・子育て会議】</p> <p>(1) 子ども・子育て支援事業計画の点検評価について</p> <p>&lt;非公開案件&gt;</p> <p>【子ども・子育て会議】</p> <p>(2) 保育所からの移行に伴う幼保連携型認定こども園の認可について</p> <p>【児童福祉審議会】</p> <p>(3) 保育所の認可及び内装整備費補助金交付先法人の審査について</p> <p>(4) 小規模保育事業の認可について</p> <p>(5) 小規模保育事業の法人変更に伴う認可について</p>										
議 事	<p>(1) 子ども・子育て支援事業計画の点検評価について</p> <table border="1"> <tr> <td>石井部会長</td> <td>議事「子ども・子育て支援事業計画の点検評価について」、事務局から説明をお願いします。</td> </tr> <tr> <td>事務局</td> <td>資料に沿って説明。</td> </tr> <tr> <td>石井部会長</td> <td>ありがとうございます。それでは、ただいまの事務局の説明について質問や意見がございましたらお願いいたします。</td> </tr> <tr> <td>斉田委員</td> <td>個別の事業については、令和4年度の取組のところで、どうして進捗ができなかったのかという要因も含めて説明いただいたのでよく分かりました。指標の進捗である保育所待機児童数と園内研修リーダー育成研修を受講した園の割合の評価がCとBにされた理由と、どういったところが問題だったのかをどう総括されているか御説明いただきたいです。</td> </tr> <tr> <td>事務局</td> <td>待機児童数の部分につきまして、令和4年度の実績が10人で、もとの令和6年度の目標が0人でしたので、機械的にABC評価をさせていただきます。令和4年度の進捗状況については、やはり毎年0人を目標に掲げおりますので、令和4年度の進捗状況については</td> </tr> </table>	石井部会長	議事「子ども・子育て支援事業計画の点検評価について」、事務局から説明をお願いします。	事務局	資料に沿って説明。	石井部会長	ありがとうございます。それでは、ただいまの事務局の説明について質問や意見がございましたらお願いいたします。	斉田委員	個別の事業については、令和4年度の取組のところで、どうして進捗ができなかったのかという要因も含めて説明いただいたのでよく分かりました。指標の進捗である保育所待機児童数と園内研修リーダー育成研修を受講した園の割合の評価がCとBにされた理由と、どういったところが問題だったのかをどう総括されているか御説明いただきたいです。	事務局	待機児童数の部分につきまして、令和4年度の実績が10人で、もとの令和6年度の目標が0人でしたので、機械的にABC評価をさせていただきます。令和4年度の進捗状況については、やはり毎年0人を目標に掲げおりますので、令和4年度の進捗状況については
石井部会長	議事「子ども・子育て支援事業計画の点検評価について」、事務局から説明をお願いします。										
事務局	資料に沿って説明。										
石井部会長	ありがとうございます。それでは、ただいまの事務局の説明について質問や意見がございましたらお願いいたします。										
斉田委員	個別の事業については、令和4年度の取組のところで、どうして進捗ができなかったのかという要因も含めて説明いただいたのでよく分かりました。指標の進捗である保育所待機児童数と園内研修リーダー育成研修を受講した園の割合の評価がCとBにされた理由と、どういったところが問題だったのかをどう総括されているか御説明いただきたいです。										
事務局	待機児童数の部分につきまして、令和4年度の実績が10人で、もとの令和6年度の目標が0人でしたので、機械的にABC評価をさせていただきます。令和4年度の進捗状況については、やはり毎年0人を目標に掲げおりますので、令和4年度の進捗状況については										

	事務局	<p>C評価にさせていただきます。</p> <p>続きまして、リーダー育成研修の受講者ですが、コロナ前の計画策定時でしたので、1研修当たりの募集人数100名での会場開催を予定しておりました。途中、コロナの影響で2年度は開催が中止になり、3年度からはオンラインで行いましたが、こちらは往還型研修なので参加人数を絞って開催させていただいた経過がございます。令和6年度に向けては51%という、もともと100施設ずつ研修を受講していただく割合で計画を立てておりましたが、コロナの影響で募集を少なくした現段階での募集人数といたしましては計画どおり進捗しているということで、令和4年度実績は34%でございますが、進捗状況はBと評価させていただきます。</p>
	斉田委員	<p>ありがとうございます。</p>
	大庭委員	<p>保育士採用、定着に課題を抱える園への支援について、コンサルタント派遣件数ということですが、公立の園長先生等が回られていることを指していますか？</p>
	事務局	<p>公立の先生方が回られているものは巡回訪問事業かと思います。コンサルタント派遣事業では、元人材派遣会社の方や、園向けのコンサルタント等の方々に、希望する園が申し込んでいただきます。最近では採用支援が多いですが、人材の定着や労務管理などの課題があると思っていられる園へ、専門の方に3回ぐらい来ていただき、課題を解決していただくというものになります。</p>
	大庭委員	<p>そういったアドバイスは非常に大事だとは思いますが、実例として定着比率が上がった園があるのでしょうか。それとも、ほとんどがその効果がなかったということなのか。その辺を具体的に教えていただきたいです。</p>
	事務局	<p>アンケートを取っていますが、ほとんどの園から何らかの効果があつたと答えていただいています。例えば、採用のホームページ等がなかったけれども、アドバイスをもらってつくろうと思ったとか、最近ではスカウトメールという、自分からプッシュ型で求人をするのですが、そのやり方が分からなかったのができるようになった等です。特に効果がなかったという回答はほぼないです。気持ちの面もあるかもしれないですけども、何らかの効果があつたというお答えをいただいております。</p>
	大庭委員	<p>ありがとうございます。あともう一つ、一時保育の実績8万7000人ですが、目標15万と極端に差がある状況という解釈でよろしいですか。理由は書いてありますが、目標数値と実績の開きがすごく大きいので、もう少し説明をお願い致します。</p>
	事務局	<p>細かい積算的なものは持っておりませんが、利用枠が足りないとい</p>

	<p>大庭委員</p> <p>事務局</p> <p>大庭委員</p> <p>石井部会長</p> <p>事務局</p> <p>石井部会長</p> <p>天明委員</p> <p>事務局</p> <p>天明委員</p>	<p>う実情がある中で、現状と目標数値に乖離が生じているような状況でございます。</p> <p>新しくシステム化して、利用者が利用しやすくなってきたという報告も受けていますけれども、途中経過で数字は出てこないと思いますが、現状どんな手応えを感じていらっしゃるのでしょうか。</p> <p>システムの活用によって、1日単位でしか空きができなかったところを、時間単位で細かく空きを確認できるようになりました。そのため、その隙間時間に合わせて利用できるようになったというお声が聞いておりますので、システムを活用しながら、うまくマッチングできるような形を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>5年前の策定のときの量の見込みを、コロナ禍で少し縮小し、その後も据え置いているので、こうやって乖離しているのではないのでしょうか。</p> <p>そういったところもあります。</p> <p>そんな自治体が多いかなと感じています。ほかにいかがでしょう。</p> <p>今度、ニーズ調査をすることによって、また新たに数字が大幅に変わってくるのでしょうか。この流れがどう踏襲されていくのか、ニーズ調査をやったら、そちらを優先して方向性を変えていくのか、流れを教えてください。</p> <p>星印がついている事業は、令和7年度から始まる第3期の計画でも、一時預かりや一時保育事業については量の見込みを立てて確保方策を定めていきます。次の計画では、ニーズ調査で把握した、これぐらいの期間、これぐらいの時期に使いたいという人たちをベースに想定事業量を設定していく予定でございます。</p> <p>ただ、こういう事業があると良いですか、使いたいですかという質問に対して、使いたいという答えが出るのが傾向的にありますので、ここの設定につきましては、ニーズ調査の結果を踏まえてどうしていくか、また皆様とも御相談させていただきながら設定していきたいと思っております。</p> <p>ありがとうございます。私たちは検証結果もこうやって見せていただくので、欲しいと言っていたのに意外と結果が出なかったというところがあるのですが、それは欲しいと言った人たちが実際には使わなくて済んだという嬉しい結果かなとも思うので、そのあたりをうまく軟らかく受け取っていただいたほうが良い設問もあると思えました。私たちが混乱してはいけないのですが、行政も、もしかしてそれをそのまま受け取らなくても良い設問もあるかもしれないので、ちょっと難しく感じました。</p>
--	--	--

	事務局	<p>例えばほかの事業で御説明しますと、延長保育事業などに関しましては、ニーズで出した想定事業量に対して実際の実績がかなり追いついていないような状況がございますが、それは、天明委員のご発言にありましたように、使えない人がいるわけではなくて、希望があれば全て受け入れられる状態は確保しているけれども、実際に使う人が少なかったということが確かでございます。</p> <p>一方で、今の一時保育に関しましては、確かに使わなくてよかったという方もいらっしゃるかもしれないのですが、どちらかという、使いたいけれども使いたいときに空きがなかったといった声をまだまだいただく事業であります。ニーズの算出方法などにはまた工夫が必要ですし、ここまで乖離があるのはどうなのかというところはあるかと思えますけれども、引き続き確保に務めていかなければならない事業ということで、今回もC評価にさせていただきます。</p>
	天明委員	<p>そうですね。この課題のほうに書いてあるのは、結局、場所的にもちょっと問題があるなど、預けたいけれども難しいというものがあるので、事業のスタイルがちょっとマッチしていないという心配もございます。</p>
	尾木委員	<p>休日一時保育はいつも大体Dとかで、なかなか実績ができないところなのですが、ちょっと気になったのが、事業者からの意見に「休日一時のニーズは、そこまで高くない」と記載があります。本当でしょうか。例えば乳幼児一時預かり事業で祝日、日曜日も預かっているところは多いのか等、そこら辺の実態を教えてくださいませんか。</p>
	事務局	<p>休日一時保育につきましては、こちらに書いてありますとおり、実際のところ使うという保護者のニーズが少ないという声をいただいています。ニーズが少ないということで、休日保育を実施している園についても縮小の傾向があるという現状でございます。こちらにつきましては、ニーズ調査を踏まえまして、今後、次の計画について検討したいと考えております。</p>
	尾木委員	<p>乳幼児一時預かり事業では、週末や日曜とか祝日の預かりをしているのでしょうか。</p>
	事務局	<p>すみません、ちょっと確認の上、後ほどということでもよろしいでしょうか。</p>
	尾木委員 大庭委員	<p>分かりました。結構です。</p> <p>金曜日に初めてインスタのライブで、全国規模の保育士の先生方とお話したのですけれども、そこで横浜の保育のアピールをしました。そうしたら、保育士の宿舎借り上げについて、他都市だと条件がすごく厳しく、独身だけとか細かい条件をつけているところや、1園につき2つまでなど、予算の関係でそうなっているようでした。ですから、</p>

	石井部会長	<p>ほかの都市から比べると、横浜市は条件が緩く、一番魅力的ではありませんので、ぜひ継続していただければと思っております。よろしくお願いいたします。</p> <p>記載内容の因果関係、関係性を教えてほしいです。このA4の紙にまとめがあって、その詳細がA3に散りばめられているように感じています。A4の紙のほうは、恐らく総会など審議したり、パブリックに公表されるものなのかなと思うのですが、主な取組というのはただ実施したことが書いてあって、指標の進捗でこの2つが取り上げられている。ごめんなさい、説明があったことかもしれないですが、それぞれ3つのポイントが何を書き分けているのかがちょっと分からなくなりました。</p> <p>僕の感覚だと、一番上の欄のところが達成されたことかと思っただのですが、よく見てみると、達成されていないことも交ざっています。一時預かりや就職相談会など、保育所見学会は4回で8人しか参加していないとか、養成校に2校しか行っていないとか、何かあまり誇れるものでもないかなというのが上の欄に書いてあります。下の欄は課題、つまり、やれたことをさらに伸ばすということと、あと課題はこういうふう改善するなどが書かれるかと思っただのですが、そのすみ分けをどう意識されているのかというのをお聞きしたいです。</p>
	事務局	<p>1枚目の施策1の「これまでの主な取組」につきましては、基本施策1にぶら下げている事業の中で、令和4年度に取り組んだ主要内容を事実として書かせていただいております。こちらと次の「指標の進捗」は必ずしも因果関係を持っているわけではございません。「指標の進捗」につきましては、第2期の子ども・子育て支援事業計画の冊子の中で、施策ごとに指標を2つ程度ずつ設けておりますので、その進捗状況はどうであったかを明らかにする目的で記載しています。「今後の取組の方向性」は、施策1全体に関して、今後、または今年度、力を入れて取り組んでいく内容を記載させていただいているという関係になっております。</p>
	石井部会長	<p>また、2枚目以降の細かい点検・評価案につきましても、この部会での審議を経た後、総会のほうにもお出しし、最終的にはこちらホームページ等で公表する予定となっております。</p> <p>僕が言いたかったのは、CとかAとかの評価がまとめのところに明確に反映されていないのではないかと、つまり何となく書かれていないだろうかというところがちょっと気になりました。Cだったら、こう改善します、Aだったらそのまま継続なのか、さらに良くするために何かするのかというのが自己評価のポイントかなというふうに思いましたが、それは関係ないと今おっしゃったので、個人的にはちょっと</p>

		<p>違和感があるなと思いましたが、いかがでしょうか。もしかして、今までそうは書かれていなかったということでしたら、それはそうだと思いますが、ここの細かいところで、Cだから次は頑張ろうとか、自己評価がここは悪かったからこう改善しようとか、良かったから、やったこととして堂々とここに書こうとか、そういう自己評価のABCとの因果関係があまりないのはどうなのかなとちょっと思いました。</p>
	事務局	<p>評価に関わらず、市として何か特徴的な取組をしたものや、今年度、力を入れて取り組んでいこうとしていることを一番上の主な取組や今後の取組の方向性に記載しましたが、確かにこのように比べると、後ろのCやAであるものが今後どうなっていくのかが見えないという御指摘かと思しますので、今後、工夫をさせていただければと思います。</p>
	石井部会長	<p>多分ほかの評価との整合性もあると思いますが、まとめの文章のはずなのに、根拠なく何となく書かれているものだとまずいかもしいないと思いましたので指摘しました。</p>
	事務局	<p>これまでの主な取組と今後の取組の方向性のところでつながりを持てるように、少し表現等を修正させていただき、部会長に御確認いただければと思います。</p>
	石井部会長	<p>はい。それは全く大丈夫です。あと、ほかの部会もあるので、そちらとあんまりずれちゃっても変かなと思いますので。</p>
	事務局	<p>各部会の中で本日が最初になりますので、今後に向けてもう一度整理をさせていただきます。</p>
	事務局	<p>先ほどいただいた、乳幼児一時預かり、休日受付についてはどうかという御質問ですが、乳幼児一時預かりそのものは実際には月～金の稼働ですので、基本的に休日の稼働がありません。一部、補助事業以外の部分で臨時的にやられているところはあるようなのですが、実態を詳細には把握しておりませんので、そちらのほうで休日の保育のニーズという形ではちょっとできていない状況でございます。</p>
	石井部会長	<p>今の御説明で大丈夫でしょうか。</p>
	尾木委員	<p>子育てしている家庭で本当に日曜日に一時預かりのニーズはないのか疑問です。休日一時保育が利用しにくいので乳幼児一時預かりのほうで利用していますというのだったら分かると思ったのですが、実際はその方たちは、例えば子育てサポートシステムとか、そういうものを使っているということになるのでしょうか。実態は分からないと思いますけれど、どこかでそれがカバーできていたら良いと思います。</p>
	石井部会長	<p>事業者からニーズがないとかと言うのは、ちょっと怪しいですね。</p>
	尾木委員	<p>それはこの事業を利用していないというだけの話で、ニーズはないわけではないと思うので、ニーズがある子育て家庭は、一体、休日ほど</p>

	<p>大庭委員 尾木委員</p> <p>事務局</p> <p>尾木委員 山瀬委員</p>	<p>うやって一時預かりを利用しているのかなと思ったのでお聞きしてみました。どうしているのでしょうか。</p> <p>数は多くはないですけども。</p> <p>でも、週末にみんなが休めているわけじゃないですよ。週末に働いている方もたくさんいるので、2人とも働いている方とかはどうしているのかというのもちょっと気になりました。</p> <p>きちんとしたお答えになりませんが、ニーズ調査の中でも、保育の必要量や、一時預かりをどれくらい使いたいかのようなところを今後確認していきます。その方たちが子育てサポートシステムをどう使っているか等をクロス集計できるかと思いますので、どういうやり方があるか、把握できる方法を検討してみたいと思います。</p> <p>よろしくお願いします。</p> <p>よろしくお願いします。さっきの尾木先生のお話、ニーズ調査の中でぜひ把握していただきたいです。やっぱり枠がなければそもそも利用しようと思わないですし、横浜市はこれだけ広いのに休日一時保育は今7か所ということなので、近くなければ使おうとは思わないので、ニーズが湧いてこないのではないのでしょうか。</p> <p>結局やりくりで何とかして、出てきていないニーズとかもあるのかなと思うので、もう少しここを突っ込んでいくと良いと思いました。あと、保育所等での一時保育のところ、利用枠がないから数が伸びなかったと説明がありましたが、そうであれば、この延べ利用者数で実績とか事業計画を立てるという立て方について少し考えたほうが良いかもしれません。結局、枠を満たしていないのであれば、これはいつまでたってもCはCのまま、BとかAにはなれないということじゃないのでしょうか。</p> <p>先ほど石井先生からお話があった評価ですが、令和4年度が目標値で、それに対して実績値がどれだけ迫れたかというのでABCをつけているということかと思いました。ただ、15番の保育所等での一時保育は、令和4年度と合計の8万7907人と差でCとついていますが、その下は明らかに桁が1つ違ってD。乳幼児一時預かり事業だと、これはCではなくてBになっています。9番の保育・幼児教育の場の確保だと、②は結構超えていますけれども、①だとちょっと減っていて、これはB。その下の10番の延長保育事業のところは目標が7,500で合計が3,900なので、明らかにここにも差があるのですが、これはB。どのくらいまで迫ればBになって、どのくらい遠ざかっていけばC、Dになるのか、この目安感というのが、一定である必要があると思いますが、何かこの中から読み取れません。</p> <p>事業を担当される課で判断されているかと思えますけれども、何か</p>
--	--	--

	事務局	<p>この迫り感とかの違いがどう表現されるのかという評価が、同じ指標ではかっているという感じにはならないのが、石井先生がおっしゃっていたABCの評価を考えていく中で、説明ができるような形にしておいたほうが良いのかなという印象がありました。</p> <p>全てにお答えするのは難しいのですが、御指摘をいただいてBにしているものと、例えば10番の延長保育事業につきましては、令和4年度 of 取組欄の最後に書かせていただいておりますが、利用を希望する方には延長保育を提供できている状態があります。私たちが計画を立てたときの想定事業量までは実際の実績は至っていないけれども、使いたいという希望を出している方は全て使えている状態が確認できるものについては、差があってもB評価とさせていただいています。</p> <p>それから、19番乳幼児一時預かりの御指摘をいただいたかと思えます。こちらもB評価としていて、令和4年度の実績が8万8916人ですが、確保方策で予定していたのは12万9029人ということで、大分差がありますけれども、令和4年度の取組欄に書かせていただいたように、前年度と比べて1万9891人増加しているところがございます。ここは私が冒頭に御説明した、コロナ禍で一時的に利用は落ち込んだけれども、令和2年度、3年度と比べて回復傾向にある。まだ目標値までは到達していないけれども、目標値に近づいていっていると御説明できるものについてはB評価とさせていただいています。</p> <p>一方で、15番・16番の一時保育や休日一時保育につきましては、令和3年度の実績と比べましても、下がるか、ほぼ横ばいという状況がございまして、これではコロナ禍の影響という対応はできないということで、しっかり見直しや改善が必要であるという認識でCやDにさせていただいております。</p> <p>時間の関係で、Bの部分はどうしてBにしたのか等が御説明できていなかったのですが、こちらは所管課でつけた上で、私たちのほうで、きちんと御説明できるようになっているかというところを確認しております。御指摘いただいた分は、もう一度きちんと説明できるように確認しておきたいと思えます。</p>
	石井部会長	<p>ほかにかがでしよう。どうやら幾つか課題はあるようですが、一応皆さんの御意向を伺いたいと思えます。</p>
	大庭委員	<p>先ほどの休日預かりのニーズがそれほど高くないという文は、カットしたほうがよろしいのではないのでしょうか。そう言い切ってしまうと、ちょっとリサーチ不足だと思いますし、利用者からのニーズはあると思えます。</p>
	事務局	<p>御意見ありがとうございます。実際、事業者からは、なかなか申込</p>



		<p>みがないといった声はいただいておりますが、一方でニーズ調査ではそれだけやっているという声もあります。そして実際に実施している園が11園しかないという実態や、休日保育、休日一時保育、全部含めても9区の設置という状況もあります。実際に使っている方々は認可外やサポートシステムを使うなどの方策を行っていると思われるが、その辺の状況もはっきりこちらが把握できていないので、こちらとしては、新たに設置してくれる園はないかということで各園に声をかけて、ニーズに応じて進めていきたいと考えております。</p> <p>これはニーズと書くので違うように感じるのではないのでしょうか。今おっしゃったとおり、申込者数がないわけでしょう。でも、ニーズがあるかもしれない。ニーズがある人にとっては「地域にばらつきがあるので利用しづらい」と書いてあるので。</p> <p>分かりました。では、利用申込みがないということで修正させていただくということでよろしいでしょうか。</p> <p>そのほうがすっきりします。</p> <p>局内でもそのような方向性で修正案を考えさせていただきます。ありがとうございます。</p> <p>それでは伺います。今、御意見が様々出ましたが、改めて次回という程でもないかなと思いますので、場合によって、必要性も含めて事務局にて軽微なところを修正していただいて、おおむね事務局の示したとおり了承するということがよろしいですか。</p> <p style="text-align: right;">(異議なし)</p> <p>ありがとうございます。</p>
石井部会長		
事務局		
石井部会長		
事務局		
石井部会長		
一同		
石井部会長		